

事務事業評価表（内部管理事務）

（評価対象：平成 30 年度）

1. 事務事業の概要					
事務事業名	62-1	美濃市立美濃病院経営安定化プラン継続策定	担当課	美濃病院事務局管理課	
			作成者	春田・鶴飼泰	
施策体系	行政分野	①健康・福祉		施策分類	4医療
	総合計画上の施策名	15	美濃病院の安定経営の維持		
	施策名(評価単位)	(40)	美濃病院の安定経営の維持		

2. 事務事業の目的	美濃病院に課せられた役割を明確にし、地域医療を確保するとともに、経営安定化プランのもと、良質な医療を継続して提供できる体制を保持します。
------------	--

3. 事務事業の実績	
(1) 事業の実施内容(平成30年度)	<ul style="list-style-type: none"> ◆経営安定化プランの検証を行いました。 ◆収益に関する事 <ul style="list-style-type: none"> ・2階病棟を一般病棟から地域包括ケア病棟へ転換し、患者確保と収益向上に努めました。 ・診療情報統合管理システム、X線フラットパネルシステム、白内障手術装置などを購入し、高度な医療及び安全性の向上に努めました。 ・在宅医療支援センターの本格的稼働により、入退院患者及び在宅患者とその家族に対する相談、支援の充実を図りました。 ・福祉及び保健部門と連携し、健診業務の一層の強化、充実を図りました。 ◆経費に関する事 <ul style="list-style-type: none"> ・薬剤・診療材料、酸素供給方法、医療廃棄物処理方法の見直しを図り、費用を削減しました。 ・後発医薬品への切り替えを促進しました。

(2) 事務事業実施にかかるコスト					(単位:円)
区分	平成28年度実績	平成29年度実績	平成30年度実績	令和元年度見込	
① 直接事業費	500,000	500,000	500,000	500,000	500,000
② 人件費	8,800,000	7,600,000	8,625,000	8,625,000	8,625,000
③ 合計コスト ①+②	9,300,000	8,100,000	9,125,000	9,125,000	9,125,000
前年度比		87.1%	112.7%	100.0%	
財源内訳	国・県支出金	0	0	0	0
	市債	0	0	0	0
	その他特定財源	0	0	0	0
	一般財源	9,300,000	8,100,000	9,125,000	9,125,000
④ 活動一単位当たりコスト	103.5	595.0	1,223.5	1,166.4	
前年度比		574.9%	205.6%	95.3%	
⑤ コストに関する増減理由	平成30年度は、委託費など支出の増加により、純利益が前年度を下回ったため、活動一単位当たりコストが増加しました。				

(3) 活動指標	指標名	純損益				単位:	千円
	指標説明	収益的収支における純損益(収入-支出+特別損益)状況					
		平成28年度実績	平成29年度実績	平成30年度実績	令和元年度見込		
	実績値	89,849	13,613	7,458	7,823		

4. 評価・課題	
<ul style="list-style-type: none"> ・病院経営安定化プランをもとにした取り組みにより、引き続き黒字決算となりました。 ・建物が建築後15年以上経過しており、老朽化による修繕費等の増額が見込まれます。このため、予算配分について、一層留意していく必要があります。 	

5. 具体的な改善内容		改善時期	平成31年4月
<ul style="list-style-type: none"> ・増築した健診棟を計画的に活用し、健診率の底上げを図るとともに、「地域包括ケア病棟」を活かし、急性期から回復期までの入院患者の受入等、幅広い病床機能の運用により稼働率を維持し、収益確保に努めます。 ・電気料金及び電話料金の見直しを図ります。 			

6. 事業の総合評価及び今後の方向性		所属長氏名	小森 誠
<ul style="list-style-type: none"> ・美濃病院経営安定化プランの方針及び目標値の達成を目指し活動したことにより、健全な病院運営に成果があったと評価できます。 ・安定経営を維持しながら、充実した医療サービスを提供していくためには、病院改革プランの策定は必要と考えられます。今後も医療関係の情報収集を積極的に行い、動向を迅速に捉えて適切に対応できるよう現プランの内容を継続した新たなプランの策定を実施することとします。 			
今後の方向性	1. 継続	(1. 継続 2. 廃止 3. 完了 4. 統合)	

事務事業評価表（内部管理事務）

（評価対象：平成30年度）

1. 事務事業の概要				
事務事業名	62-2	医療機器の計画的整備	担当課	美濃病院事務局管理課
			作成者	市原・春田
施策体系	行政分野	①健康・福祉	施策分類	4医療
	総合計画上の施策名	15 美濃病院の安定経営の維持		
	施策名(評価単位)	(40) 美濃病院の安定経営の維持		

2. 事務事業の目的	医療水準向上のための現在未整備である新規医療機器の導入を進めるとともに、限られた予算の中で計画的に老朽化した機器を更新することを目的とします。
------------	---

3. 事務事業の実績	
(1) 事業の実施内容(平成30年度)	<p>更新した医療機器</p> <ul style="list-style-type: none"> ・診療情報統合管理システム ・X線フラットパネルシステム ・白内障手術装置 ・光干渉断層計(アンギオ搭載) ・光学式眼軸長検査装置 ・大腸ビデオスコープ ・シャワー入浴装置 ・離床センサー内蔵超低床電動ベッド <p>平成15年度(新病院移転時)に購入した100万円以上の医療機器、医療情報機器のうち今年度は金額ベースで6.1%更新しました。なお、全体では61%の更新が終了しました。</p>

(2) 事務事業実施にかかるコスト					(単位:円)
区分	平成28年度実績	平成29年度実績	平成30年度実績	令和元年度見込	
① 直接事業費	220,949,020	23,194,720	103,974,800	212,187,000	
② 人件費	8,000,000	5,600,000	7,875,000	8,625,000	
③ 合計コスト ①+②	228,949,020	28,794,720	111,849,800	220,812,000	
前年度比		12.6%	388.4%	197.4%	
財源内訳	国・県支出金	0	0	0	0
	市債	0	0	0	148,000,000
	その他特定財源	0	0	0	0
	一般財源	228,949,020	28,794,720	111,849,800	72,812,000
④ 活動一単位当たりコスト	45,789,804.0	15,155,115.8	18,336,032.8	31,544,571.4	
前年度比		33.1%	121.0%	172.0%	
⑤ コストに関する増減理由	平成30年度は、移転時の更新対象機器に該当していない医療機器を購入したため、活動一単位当たりコストが増加しました。令和元年度は、既に更新を行っている高額な医療情報システムを再度購入するため、活動一単位当たりコストが増加しました。				

(3) 活動指標	指標名	医療機器更新率の上昇値			単位:	%
	指標説明	新病院移転時の更新対象医療機器を基準に金額ベースでの更新率の上昇値を算出				
		平成28年度実績	平成29年度実績	平成30年度実績	令和元年度見込	
	実績値	5.0	1.9	6.1	7.0	

4. 評価・課題
<ul style="list-style-type: none"> ・病院内の各部局の意見聴取や医療機器の点検等により、老朽化した機器の更新、新規購入ができました。 ・耐用年数を著しく過ぎた機器については故障のリスクが高まり、緊急の購入や修繕の要因となります。半数以上の機器が購入から10年以上経過している中で、計画的更新を進める必要があります。

5. 具体的な改善内容	改善時期	平成31年4月
<ul style="list-style-type: none"> ・老朽化、機能性等を視野に入れ、今後、担っていくべき診療機能にふさわしい医療機器の計画的更新を目指します。 		

6. 事業の総合評価及び今後の方向性	所属長氏名	小森 誠
<ul style="list-style-type: none"> ・平成30年度も引き続き質の高い医療の維持と向上目標に掲げ、医療機器の整備・更新を進めてきました。 ・医療の水準を維持・向上させるため医療機器の更新及び施設の修繕を計画的に行い、患者満足度向上につながる成果を出すことを目標とします。 		

今後の方向性	1. 継続	(1. 継続 2. 廃止 3. 完了 4. 統合)
--------	-------	---------------------------

事務事業評価表（一般事業）

（評価対象：平成 30 年度）

1. 事務事業の概要				
事務事業名	62-3	健診メニュー及び予防医療の充実	担当課	美濃病院事務局管理課
			作成者	鶴飼恭・亀山・杉政・江崎
施策体系	行政分野	①健康・福祉	施策分類	4医療
	総合計画上の施策名	15	美濃病院の安定経営維持	
	施策名(評価単位)	(40)	美濃病院の安定経営維持	

2. 事務事業の目的	受診環境整備及び受入体制の充実により市民の健康維持・増進を推進します。
------------	-------------------------------------

3. 事務事業の実績	
(1) 事業の実施内容(平成30年度)	<ul style="list-style-type: none"> 市民の方に日曜日に健診を行う「みの総合健診デー」を実施しました。 マンモサンデーにキッズスペースを設置しました。 市民の方に保健センターとの「からだ改善プロジェクト」を実施しました。 企業の安全衛生委員会へ参加を行いました。 市内未受診企業へ健診案内を送付しました。 健診ギフトを作成しました。

(2) 事務事業実施にかかるコスト (単位:円)				
区分	平成28年度実績	平成29年度実績	平成30年度実績	令和元年度見込
① 直接事業費	528,000	1,170,720	1,194,990	1,200,000
② 人件費	18,800,000	21,200,000	18,000,000	18,375,000
③ 合計コスト ①+②	19,328,000	22,370,720	19,194,990	19,575,000
前年度比 (%)		115.7%	85.8%	102.0%
財源内訳	国・県支出金	0	0	0
	市債	0	0	0
	その他特定財源	0	0	0
	一般財源	19,328,000	22,370,720	19,194,990
④ 活動一単位当たりコスト	402,666.7	438,641.6	362,169.6	355,909.1
前年度比 (%)		108.9%	82.6%	98.3%
⑤ コストに関する増減理由 (30年度実績、31年度見込)				

(3) 活動指標	指標名	事業所への訪問、電話打合せ回数			単位:	回数
	指標説明	訪問・依頼に応じて話し合いをした回数				
		平成28年度実績	平成29年度実績	平成30年度実績	令和元年度見込	
	実績値	48	51	53	55	

(4) 成果指標	指標名	新規健診メニュー(オプション)・ワクチンの種類			単位:	個	評価:	+
	指標説明	新規健診メニュー(オプション)・ワクチンの種類の増加						
	目標値の設定方針	前年度と同値						
		平成28年度実績	平成29年度実績	平成30年度実績	令和元年度見込			
	目標値	77	77	79	83			
	実績値	73	76	82				
達成度 (%)	94.8%	98.7%	103.8%					

4. 妥当性評価 (「No」となった場合には、その理由を「5. 評価・課題」に記載すること。)				評価		B	
① 総合計画の体系の中で類似・重複した事務事業はないか	Yes	1	No				
② 民間の事業(サービス)との競合はなかったか	Yes		No	1			
③ 国や県の事業(サービス)との重複はなかったか	Yes	1	No				
④ 他自治体との比較、市民ニーズを踏まえサービスの水準を見直す必要がないか	Yes	1	No				

5. 評価・課題	
<ul style="list-style-type: none"> みの総合健診デーを休日に行う事により仕事、子育てで平日健診を受診出来ない方に健診を受けていただく機会ができました。 からだ改善プロジェクトを休日に行う事により仕事、子育てで平日健診を受診出来ない方に健診を受けていただく機会ができました。 新規に大同メタル健康保険組合の健診(人間ドック)を行い、健診施設や接遇・対応について受診された方より高評価をいただきました。 マンモサンデー開催時にキッズスペースを設置し、子育て中の方で受診出来ない方に対し新たな健診機会を設けることができました。 	

6. 具体的な改善内容	改善時期	平成31年4月
<ul style="list-style-type: none"> 美濃市のがん検診受診率向上のため、『みの総合健診デー』開催時にキッズスペースを設置します。 平日健診を受診出来ない方にも健診を受けていただくために今後も休日開催の『みの総合健診デー』を継続していきます。 市内の未受診企業に対して案内を郵送するのみでなく、訪問による受診勧奨を実施します。(まずは大企業から) 受診者の満足度を高めるため、新たなオプションメニューを開発し実施します。 		

7. 事業の総合評価及び今後の方向性	所属長氏名	小森 誠
<ul style="list-style-type: none"> 健診事業については受診者数も増加しており受診企業及び各受診者の皆様から高評価をいただきました。今後も継続した評価を得るために、みの健康管理センターによる受診環境整備、健診メニューの充実や二次検査未受診者への対応【受診勧奨】を継続実施いたします。 予防接種事業については、接種前問診、手順等に留意し適切に実施することができました。 		

今後の方向性	1. 継続	(1. 継続 2. 廃止 3. 完了 4. 統合)
--------	-------	---------------------------